

1. 件名： 核セキュリティを目的とした核燃料物質の計量管理に係る検討状況説明会

2. 日時： 令和5年7月7日(金) 10時00分 ～ 12時00分

3. 場所： 13階会議室BCD

4. 出席者：

原子力規制庁

長官官房

古金谷緊急事態対策監

原子力規制庁長官官房放射線防護グループ

中村安全規制管理官(核セキュリティ担当)

核セキュリティ部門

担当者 8名

保障措置室

担当者 2名

京都大学

担当者 1名

東京大学

担当者 2名

近畿大学

担当者 2名

東芝エネルギーシステムズ株式会社

担当者 1名

原子燃料工業株式会社

担当者 2名

核物質管理センター

担当者 2名

三菱原子燃料工業株式会社

担当者 2名

三菱電機株式会社

担当者 1名

日本原燃株式会社

担当者 3名

MHI原子力研究所株式会社

担当者 1名

株式会社グローバル・ニュークリア・フュエル・ジャパン

担当者 3名

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構

担当者 7名

5. 要旨：

- (1) 原子力規制庁から、核セキュリティ目的での核物質計量管理方法の導入可能性に係る検討、調査、考察、論点及びNMACエキスパートミッションの実施について説明した。事業者から、説明内容について質疑応答を受けた。

6. 資料：

議事次第

資料1 セキュリティ目的での核物質計量管理方法の導入可能性に係る検討(背景)

資料2 セキュリティ目的での核物質計量管理方法(定義、目的)

資料3(非公開) セキュリティ目的での核物質計量管理方法の導入可能性に係る検討(検討状況)

資料4(非公開) NMACエキスパートミッションについて(講義内容の紹介)

資料5(非公開) 核セキュリティのための計量管理の導入可能性に係る調査(委託調査概要)について

資料6(非公開) 核セキュリティを目的とした核燃料物質の計量管理に係る考察と論点

参考1(非公開) IAEA 核セキュリティ・シリーズ(NSS)文書(NMAC関連文書)

参考2 国際原子力機関(IAEA)の国際核物質防護諮問サービス(IPPAS)ミッション報告書及び同フォローアップミッション報告書【抜粋】

参考3 核物質及び原子力施設の物理的防護に関する核セキュリティ勧告(INFCIRC/225/Rev.5)(NSS No.13)【抜粋】

参考4 施設におけるセキュリティを目的とした使用中の核燃料物質の計量と管理(NSS No.25-G)【抜粋】